

使用した調査票

富山県男女共同参画社会に関する意識調査

平成27年10月

調査委託者 富山県生活環境文化部
男女参画・県民協働課
調査受託者 株式会社ラックス

調査へのご協力をお願い

県民の皆様には、日頃より、県政の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

富山県では、男女が互いに、人権を尊重しつつ、個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現をめざして、各種施策を展開しております。

このたび、県民の皆様にも男女共同参画社会に対するお考えやご意見をお伺いし、今後の施策を検討するうえでの基礎資料とすることを目的に、男女共同参画社会に関する意識調査を実施いたします。

この調査は、県内にお住まいの20歳以上の方々の中から、無作為に選ばせていただいた男女1,200名の方をお願いするものです。

この調査でお聞きしたことを、他の目的に使用したり、個人情報外部に漏れることは、絶対にありませんので、ご協力いただきますようお願いいたします。

ご記入に際してのお願い

- (1) 回答は、調査対象者ご自身にご記入いただきますようお願いいたします。ご家族の方などが、代わりにご記入なさらないようお願いいたします。
- (2) ご記入は黒の鉛筆またはボールペンでお願いします。
- (3) 回答は、あてはまる回答の□の枠内に✓を記入し、☑の形にする方法でお願いします。回答数は、各設問に（✓は1つ）、（あてはまるものすべてに✓）などと指定してありますので、それらに従って回答してください。
- (4) ご記入いただきました調査票は、

10月27日（火）～11月24日（火）の期間内に

富山県が調査を委託した株式会社ラックスの調査員が受け取りにまいります。

必ず、回収用封筒に入れて、調査員にお渡しくださいますようお願い申し上げます。

なお、ご不明な点などがございましたら、下記の間合わせ先までご連絡ください。

問合せ先：株式会社ラックス（担当 大西）

☎ 076-422-7478

※調査全般については、富山県生活環境文化部男女参画・県民協働課まで

☎ 076-444-3137

<フェイス・シート>

◇はじめに、回答を統計的に分析するために、あなたご自身のことについてお聞かせください。

F 1 【性別】（✓は1つ）

- 1 男性 2 女性

F 2 【年齢】（平成 27 年 10 月 1 日現在）（✓は1つ）

- 1 20～29 歳 2 30～39 歳 3 40～49 歳
 4 50～59 歳 5 60～69 歳 6 70 歳以上

F 3 あなたのご職業は何ですか。（✓は1つ）

（出産休暇・育児休業中の方も働いているものとみなしてください。2つ以上仕事をお持ちの方は、主なものをお答えください。）

自営業主	<input type="checkbox"/> 1	農林漁業
	<input type="checkbox"/> 2	商工サービス業
	<input type="checkbox"/> 3	自由業
家族従業者	<input type="checkbox"/> 4	農林漁業
	<input type="checkbox"/> 5	商工サービス業
	<input type="checkbox"/> 6	自由業
雇用者	<input type="checkbox"/> 7	管理職
	<input type="checkbox"/> 8	専門技術職
	<input type="checkbox"/> 9	事務職
	<input type="checkbox"/> 10	労務職
無職	<input type="checkbox"/> 11	主婦・主夫
	<input type="checkbox"/> 12	学生
	<input type="checkbox"/> 13	その他の無職

※雇用者の方は、雇用形態もお答えください。

<input type="checkbox"/> 1	常勤（フルタイム）
<input type="checkbox"/> 2	非常勤（パート・アルバイトなど）
<input type="checkbox"/> 3	その他

※雇用者の方は、職業の分野もお答えください。

<input type="checkbox"/> 1	農林漁業
<input type="checkbox"/> 2	建設業
<input type="checkbox"/> 3	製造業
<input type="checkbox"/> 4	情報通信業
<input type="checkbox"/> 5	運輸業
<input type="checkbox"/> 6	卸売・小売業
<input type="checkbox"/> 7	金融・保険業
<input type="checkbox"/> 8	医療・福祉業
<input type="checkbox"/> 9	サービス業
<input type="checkbox"/> 10	公務
<input type="checkbox"/> 11	その他

F 4 あなたは、現在結婚していらっしゃいますか（事実婚を含む）。（✓は1つ）

- 1 結婚している
- 2 結婚していたが、死別・離別した
- 3 結婚していない

(1) へ

(1) あなたの配偶者（夫または妻）は、どのような働き方をしていますか。（✓は1つ）

- 1 自営業主
- 2 家族従業者
- 3 雇用者
- 4 無職

※雇用者の方は、雇用形態もお答えください。

<input type="checkbox"/> 1	常勤（フルタイム）
<input type="checkbox"/> 2	非常勤（パート・アルバイトなど）
<input type="checkbox"/> 3	その他

※雇用者の方は、職業の分野もお答えください。

<input type="checkbox"/> 1	農林漁業
<input type="checkbox"/> 2	建設業
<input type="checkbox"/> 3	製造業
<input type="checkbox"/> 4	情報通信業
<input type="checkbox"/> 5	運輸業
<input type="checkbox"/> 6	卸売・小売業
<input type="checkbox"/> 7	金融・保険業
<input type="checkbox"/> 8	医療・福祉業
<input type="checkbox"/> 9	サービス業
<input type="checkbox"/> 10	公務
<input type="checkbox"/> 11	その他

F 5 あなたに、お子さんはいらっしゃいますか。（✓は1つ）

- 1 いる
- 2 いない

F 6 あなたのご家庭は、次のどれにあたりますか。（✓は1つ）

- 1 単身世帯（1人）
- 2 1世代世帯（夫婦のみ）
- 3 2世代世帯（親と子ども）
- 4 3世代世帯（親と子どもと孫）
- 5 その他

【I 男女の平等】

問1 あなたは、次にあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。
次の(1)～(7)について、1～6の中から選んでください。(✓はそれぞれ1つ)

	1	2	3	4	5	6
	優 遇 さ れ て い る 男 性 の 方 が 非 常 に	ど ち ら か と い え ば 男 性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る	平 等	ど ち ら か と い え ば 女 性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る	優 遇 さ れ て い る 女 性 の 方 が 非 常 に	わ か ら な い
記 入 例	<input type="checkbox"/> 1	<input checked="" type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6
(1)家庭生活で	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6
(2)職場で	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6
(3)学校教育の場で	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6
(4)政治の場で	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6
(5)法律や制度の上で	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6
(6)社会通念・慣習・しきたりなどで	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6
(7)自治会やNPOなどの地域活動の場で	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6

問2 今後、あなたが、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために最も重要と思うことは何ですか。次の1～7の中から選んでください。(✓は1つ)

- 1 法律や制度の上での見直しを行い、性差別につながるものを改めること
- 2 女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること
- 3 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること
- 4 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること
- 5 政府や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること
- 6 その他 ()
- 7 わからない

【Ⅱ 結婚・家庭に関する意識】

問3 結婚、家庭等についての次のような考え方について、あなたの考え方に最も近いものはどれですか。次の(1)～(4)について、1～5の中から選んでください。(✓はそれぞれ1つ)

	1	2	3	4	5
	賛成	賛成 どちらか かといえ ば	反対 どちらか かといえ ば	反対	わからない
(1) 結婚は個人の自由であるから、結婚しなくてもどちらでもよい	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
(2) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
(3) 結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
(4) 結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5

問4 現在、結婚すると、夫婦が同じ名字(姓)を名乗ることが義務づけられていますが、法律が変わり夫婦が別々の名字(姓)を名乗ることが選択できるとしたらあなたはどのようにしたいですか。次の1～5の中から選んでください。現在あなたが未婚でこれから結婚すると仮定してお答えください。(✓は1つ)

- 1 夫婦で別々の姓にしたい(自分の姓は変えたくない)
- 2 夫婦で同じ姓にしたい
(配偶者には自分の姓を名乗ってほしい)
- 3 夫婦で同じ姓にしたい
(自分の姓を変え、配偶者の姓を名乗ってもよい)
- 4 夫婦で同じ姓にしたい
(自分の姓を変え、配偶者の姓を名乗ってもよいが職場では旧姓を名乗りたい)
- 5 わからない

問5 配偶者のいる方にお聞きします。

現在、あなたの家庭では、次にあげるような家事などを主に誰が分担していますか。次の(1)～(3)について1～6の中から選んでください。(✓はそれぞれ1つ)

	1	2	3	4	5	6
	夫	妻	夫婦 (同じ程度)	父親 (自分または配偶者の)	母親 (自分または配偶者の)	その他の人
(1) 炊事、洗濯、掃除などの家事	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6
(2) 育児(乳幼児の世話) ※乳幼児のいる家庭の方のみにお聞きします	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6
(3) お年寄りの介護 ※日常的にお年寄りの介護をしている家庭の方のみにお聞きします	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6

問6 もし、あなたが介護を必要とする状態になった場合、介護保険制度を利用しながらも、主にだれに世話をしてもらいたいですか。また、あなたの親の場合には主にだれの世話を受けさせたいですか。次の1～9の中から選んでください。(✓はそれぞれ1つ)

(1) あなたご自身(あなたからみた続柄をお答えください。)

- 1 配偶者(妻または夫)
- 2 息子
- 3 娘
- 4 息子の配偶者
- 5 娘の配偶者
- 6 その他の家族、親戚
- 7 ホームヘルパー等の専門家(在宅介護)
- 8 施設の介護
- 9 その他()

(2) あなたの親 (あなたの親からみた続柄をお答えください。)

- 1 配偶者 (妻または夫)
- 2 息子
- 3 娘
- 4 息子の配偶者
- 5 娘の配偶者
- 6 その他の家族、親戚
- 7 ホームヘルパー等の専門家 (在宅介護)
- 8 施設の介護
- 9 その他 ()

【Ⅲ 子ども・教育】

問7 あなたは理想として、あなた自身に何人の子どもがいるのがよいと思いますか。また、あなたは実際には生涯に何人子どもを持つつもりですか (持ちましたか)。次の (1) ~ (2) について、1 ~ 5 の中から選んでください。(✓はそれぞれ1つ)

	1	2	3	4	5
	1人	2人	3人以上	0人	わからない
(1) 理想の子どもの数	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
(2) 実際に持つつもりの子どもの数 (現実の子どもの数)	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5

問8 問7で実際の子どもの数が理想より少なかった方にお聞きします。

実際の子どもの数が理想とする子どもの数より少ない理由は何ですか。次の1～14の中から選んでください。(あてはまるものすべてに✓)

また、選んだ中で、特に重要なものについて1つだけ番号を記入してください。

- 1 経済的負担が増えるのは大変だから
- 2 健康上の理由から
- 3 出産の心理的、肉体的不安があるから
- 4 育児・子育てに自信がないから
- 5 配偶者の家事・育児への協力が得られないから
- 6 子育て以外にも時間を使いたいことがあるから
- 7 住居が狭いから
- 8 育児・子育てをしながらキャリア形成できる仕組みがないから
- 9 復職や再就職ができる就業環境や雰囲気がないから
- 10 配偶者が望まないから
- 11 欲しいけれどもできないから
- 12 子どもがのびのび育つ社会環境ではないから
- 13 その他 ()
- 14 わからない

特に重要なもの

問9 あなたは自分の子どもにどの程度教育を受けさせたいと思いますか。(1) 男の子 (2) 女の子について、次の1～7の中から選んでください。(✓はそれぞれ1つ)

※子どものいない方は、仮に子どもを持つとしたらとしてお答えください。

	(1) 男の子の場合	(2) 女の子の場合
1 中学校まで	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 1
2 高等学校まで	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 2
3 短期大学(高等専門学校を含む)まで	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 3
4 大学以上	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 4
5 専修学校・各種学校まで	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 5
6 子ども次第	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 6
7 わからない	<input type="checkbox"/> 7	<input type="checkbox"/> 7

【IV 就業】

問 10 (1) 女性の働き方について、あなたが望ましいと思うのは次の中のどれですか。次の1～7の中から選んでください。(✓は1つ)

- 1 ずっと職業を持たない
- 2 結婚するまで職業を持つ
- 3 子どもができるまでは、職業を持つ
- 4 子どもができて、ずっと職業を続ける
- 5 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ
- 6 その他 ()
- 7 わからない

(2) あなたが女性の場合は、実際はどの働き方になりそうですか(なりましたか)。次の1～7の中から選んでください。(あなたが男性の場合は配偶者のことについてお答えください。仮に現在配偶者のいない方はいるとしてお答えください。)(✓は1つ)

- 1 ずっと職業を持たない(持たなかった)
- 2 結婚するまで職業を持つ(持った)
- 3 子どもができるまでは、職業を持つ(持った)
- 4 子どもができて、ずっと職業を続ける(続けた)
- 5 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ(持った)
- 6 その他 ()
- 7 わからない

問 11 あなたは、進路や職業を選択する際に、性別を意識しましたか。(女子は文系、男子は理系分野など) 次の1～5の中から選んでください。(✓は1つ)

- 1 性別をかなり意識して選択した
- 2 どちらかといえば性別を意識して選択した
- 3 どちらかといえば性別を意識せずに選択した
- 4 性別をほとんど(全く)意識せずに選択した
- 5 わからない

問12 あなたは、一般的にいて、女性が職業人として職場で能力を發揮するためには、どのようなことが重要だと思ひますか。次の1～11の中から選んでください。(あてはまるものすべてに✓)
また、選んだ中で、特に重要なものについて1つだけ番号を記入してください。

- 1 女性が職業人としての自覚を持ち、意欲を持って働くこと
- 2 仕事に必要な職業能力を身につけること
- 3 男は仕事、女は家庭という従来社会通念が変わること
- 4 採用、職場配置、研修などにおいて、男女の機会均等が実質的に確保されること
- 5 能力や実績に応じた評価(給料の面を含む)がなされること
- 6 育児休業を取りやすくすること
- 7 介護休業を取りやすくすること
- 8 結婚、出産等によりいったん退職した女性が同じ企業に再び雇用されるようにすること
- 9 事業主が男女共同参画の理念等の理解に一層努めること
- 10 その他 ()
- 11 わからない

特に重要なもの

問13 女性の意思決定を行う管理的部門や指導的地位への登用が未だ少ない理由として、どのようなものがあるとお考えですか。次の1～9の中から選んでください。(✓は2つ)

- 1 男性中心の職場慣行があるから
- 2 登用する側に男性優先の意識や女性管理職に対する不安感があるから
- 3 女性自身が管理的部門等につくことに消極的だから
- 4 女性の職域は、主として補助的業務などに限られているから
- 5 家族の理解や協力が得られないから
- 6 女性は必要な知識や判断力が十分でないから
- 7 女性は勤続年数が短いから
- 8 その他 ()
- 9 わからない

問 14 あなたは、管理職以上に昇進することについてどのようなイメージを持っていますか。次の1～12の中から選んでください。(あてはまるものすべてに✓)

- 1 やりがいのある仕事ができる
- 2 賃金が上がる
- 3 能力が認められた結果である
- 4 家族から評価される
- 5 自分自身で決められる事柄が多くなる
- 6 やるべき仕事が増える
- 7 責任が重くなる
- 8 やっかみが出て足を引っ張られる
- 9 仕事と家庭の両立が困難になる
- 10 その他 ()
- 11 特にない
- 12 わからない

問 15 女性が長く働き続けるのを困難にしたり、障害になると考えられるのはどのようなことですか。次の1～16の中から選んでください。(あてはまるものすべてに✓)

また、選んだ中で、特に重要なものについて1つだけ番号を記入してください。

- 1 出産・育児
- 2 お年寄りや病人の世話
- 3 子どもの教育
- 4 家事
- 5 夫の転勤
- 6 家族の理解や協力が得られないこと
- 7 自分の健康
- 8 仕事の内容にやりがいがないこと
- 9 職場での結婚・出産退職の慣行
- 10 長く働き続けられるような職場の条件・制度が不十分
- 11 昇進、教育訓練などでの男女の不公平な扱い
- 12 女性はすぐやめる、労働力が劣るという考え方
- 13 職場でのセクシャルハラスメントやマタニティハラスメント
- 14 その他 ()
- 15 障害、困難になるものはない
- 16 わからない

特に重要なもの

問 16 あなたは、女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思いますか。次の 1～13 の中から選んでください。

(あてはまるものすべてに✓)

- 1 保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備
- 2 介護支援サービスの充実
- 3 家事・育児支援サービスの充実
- 4 男性の家事参加への理解・意識改革
- 5 女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革
- 6 働き続けることへの女性自身の意識改革
- 7 男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方改革
- 8 職場における育児・介護との両立支援制度の充実
- 9 短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入
- 10 育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取扱いの禁止
- 11 その他 ()
- 12 特にない
- 13 わからない

問 17 あなたが、次にあげるような職業や役職において今後女性がもっと増える方がよいと思うのはどれですか。次の 1～15の中から選んでください。(あてはまるものすべてに✓)

- 1 都道府県、市町村の首長
- 2 国会議員、都道府県議会議員、市町村議会議員
- 3 国家公務員・地方公務員の管理職
- 4 裁判官、検察官、弁護士
- 5 大学教授
- 6 国連などの国際機関の管理職
- 7 企業の管理職
- 8 起業家・経営者
- 9 労働組合の幹部
- 10 農協の役員
- 11 新聞・放送の記者
- 12 自治会長、町内会長等
- 13 特にない
- 14 その他 ()
- 15 わからない

【V 政策方針決定・女性の活躍推進】

問 18 あなたは、女性の意見が政治や行政にどの程度反映されていると思いますか。次の 1～4の中から選んでください。(✓は1つ)

- 1 十分反映されている
- 2 ある程度反映されている
- 3 あまり反映されていない
- 4 ほとんど反映されていない

問 19 問 18 で 2～4 と答えた方にお聞きします。

十分反映されていない理由について考えられるものを次の 1～8 の中から選んでください。

(✓は 3 つ以内)

- 1 男性の認識、理解が足りない
- 2 社会の仕組みが女性に不利である
- 3 行政機関の上層部に女性が少ない
- 4 女性の能力に対する偏見がある
- 5 女性議員が少ない
- 6 女性自身の意欲や責任感が乏しい
- 7 女性自身が消極的である
- 8 その他 ()

問 20 あなたは、政治・経済・地域などの各分野で、女性の参加が進み、女性のリーダーが増えるなど
のような影響があると思いますか。次の 1～14 の中から選んでください。

(あてはまるものすべてに✓)

- 1 多様な視点が加わることにより、新たな価値や商品・サービスが創造される
- 2 人材・労働力の確保につながり、社会全体に活力を与えることができる
- 3 女性の声が反映されやすくなる
- 4 国際社会から好印象を得ることができる
- 5 男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる
- 6 男女問わず仕事と家庭の両方を優先しやすい社会になる
- 7 労働時間の短縮など働き方の見直しが進む
- 8 男性の家事・育児などへの参加が増える
- 9 今より仕事以外のことが優先され、業務に支障を来すことが多くなる
- 10 男性のポストが減り、男性が活躍しづらくなる
- 11 保育・介護などの公的サービスの必要性が増大し、家計負担及び公的負担が増大する
- 12 その他 ()
- 13 特にない
- 14 わからない

問 21 あなたは、政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何だと思えますか。次の 1～10の中から選んでください。(あてはまるものすべてに✓)

- 1 現時点では、必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと
- 2 女性自身がリーダーになることを希望しないこと
- 3 上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと
- 4 長時間労働の改善が十分ではないこと
- 5 企業などにおいては、管理職になると広域異動が増えること
- 6 保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと
- 7 保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと
- 8 その他 ()
- 9 特にない
- 10 わからない

【VI 仕事と生活の調和（男性の働き方の見直し）】

問 22 生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度について、(1) あなたの希望に最も近いもの、(2) あなたの現実（現状）に最も近いものを、次の 1～8の中から選んでください。(✓はそれぞれ1つ)

	(1) あなたの希望に最も近いもの	(2) あなたの現実（現状）に最も近いもの
1 「仕事」を優先	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 1
2 「家庭生活」を優先	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 2
3 「地域・個人の生活」を優先	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 3
4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 4
5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 5
6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 6
7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	<input type="checkbox"/> 7	<input type="checkbox"/> 7
8 わからない	<input type="checkbox"/> 8	<input type="checkbox"/> 8

問 23 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の 1～12 の中から選んでください。

(あてはまるものすべてに✓)

- 1 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
- 2 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
- 3 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること
- 4 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること
- 5 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること
- 6 労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
- 7 男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと
- 8 国や地方自治体などの研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること
- 9 男性が子育てや介護、地域活動を行うための仲間（ネットワーク）作りをすすめること
- 10 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること
- 11 その他（ ）
- 12 特に必要なことはない

問 24 あなたは、男性が家事・育児を行うことについて、どのようなイメージをお持ちですか。次の 1～12 の中から選んでください。(あてはまるものすべてに✓)

- 1 男性も家事・育児を行うことは、当然である
- 2 家事・育児を行う男性は、時間の使い方が効率的で、仕事もできる
- 3 男性自身も充実感が得られる
- 4 子どもにいい影響を与える
- 5 仕事と両立させることは、現実として難しい
- 6 家事・育児は女性の方が向いている
- 7 妻が家事・育児をしていないと誤解される
- 8 周囲から冷たい目で見られる
- 9 男性は、家事・育児を行うべきではない
- 10 その他（ ）
- 11 特にない
- 12 わからない

問 25 あなたは、「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）が実現された社会」に近づくためには、（１）企業や（２）行政において、どのような取組みが必要だと思いますか。次の中から選んでください。（あてはまるものすべてに✓）

（１）企業による取組み

- 1 企業のトップのリーダーシップや管理職の意識改革
- 2 長時間労働の抑制のための業務見直しや要員の確保、職場の風土改革
- 3 フレックスタイムや在宅勤務、時間短縮勤務など柔軟な働き方の実現
- 4 年次有給休暇を取得しやすい職場づくり
- 5 育児・介護で仕事を休んでも不利にならない人事評価制度
- 6 育児・介護休業を取りやすく、復帰しやすい仕組みづくり
(休業中の代替要員の確保、休業者への情報提供、職業能力の開発・向上 等)
- 7 高齢者等への再就職・継続就業への取組み
- 8 育児・介護等によりいったん退職しても復帰できる再雇用制度の充実
- 9 事業所内保育施設の設置・運営等子育て支援
- 10 地域活動への参加や自己啓発の促進、ボランティア休暇の充実
- 11 その他 ()

（２）行政による取組み

- 1 ワーク・ライフ・バランス実現のための意識啓発
- 2 企業へのノウハウ・好事例・専門家によるアドバイスの提供
- 3 積極的に取り組む企業の表彰
- 4 職業能力開発支援など非正規労働者への経済的自立支援
- 5 就職支援や職場定着支援など若年者の安定就労・自立した生活の推進
- 6 雇用確保など女性、高齢者等の多様な働き方に対する支援
- 7 男性の子育て等への関わりの促進
- 8 育児や介護の施設・サービスの充実
- 9 多様で豊かな生き方を実現するための地域活動に関する学習機会・情報の提供
- 10 その他 ()

【Ⅶ 防災】

問 26 あなたが、災害時に「性別の違い」に気を配った対応が必要だと思うものはどれですか。次の 1～11の中から選んでください。(✓は3つ以内)

- 1 避難所の設備（男女別トイレ・更衣室、防犯対策等）
- 2 避難所運営の責任者に女性が配置され、被災者対応に女性の視点が入ること
- 3 乳幼児、高齢者、障害者、病人、女性（女性用品等）に対する備えやニーズの把握、支給する際の配慮
- 4 災害時の救援医療体制（診療・治療体制、妊産婦をサポートする保健師・助産師の配置）
- 5 被災者に対する相談体制
- 6 対策本部に女性が配置され、対策に女性の視点が入ること
- 7 防災計画・復興計画策定過程、防災会議に女性が参画すること
- 8 女性の消防団員、消防署員、警察官や県・市町村の防災担当職員が増えること
- 9 物資の備蓄を充実させること
- 10 緊急的な保育所・託児施設の配置
- 11 その他（ ）

問 27 あなたは、災害が起きたとき、避難所にはどのようなことが必要だと考えますか。次の 1～9の中から選んでください。(あてはまるものすべてに✓)

- 1 男女別の更衣室
- 2 授乳室
- 3 プライバシーを確保するための間仕切り
- 4 安全で行きやすい場所の男女別トイレ
- 5 女性トイレ・女性専用スペースへの女性用品の常備
- 6 運営の責任者に男女両方がなること
- 7 男女両方の相談員による相談対応
- 8 その他（ ）
- 9 特にない

【Ⅷ 男女共同参画社会】

問 28 メディアにおける性・暴力表現について、あなたはどのようにお考えですか。次の1～8の中から選んでください。(あてはまるものすべてに✓)

- 1 女性の性的側面を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ
- 2 社会全体の性に対する道徳観・倫理観が損なわれている
- 3 女性に対する犯罪を助長するおそれがある
- 4 そのような表現を望まない人や子どもの目に触れないような配慮が足りない
- 5 女性のイメージや男性のイメージについて偏った表現をしている
- 6 その他 ()
- 7 特に問題はない
- 8 わからない

問 29 県では、男女共同参画社会の実現をめざしてさまざまな施策を推進していますが、今後はどのようなことに、力を入れていったらよいと思いますか。次の1～14の中から主なものを3つ選んでください。(✓は3つ)

- 1 法律や制度の面で見直しを行う
- 2 国・地方公共団体の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する
- 3 民間企業・団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する
- 4 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を提供する
- 5 保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する
- 6 学校教育や社会教育・生涯学習の場で、男女の平等と相互の理解や協力について学習機会を充実する
- 7 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める
- 8 職場における男女の平等な取扱いを周知徹底する
- 9 女性の就労機会確保、女性の職業教育・訓練の機会を充実する
- 10 子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する
- 11 子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する
- 12 男女の平等と相互の理解や協力について広報・PRする
- 13 その他 ()
- 14 わからない

平成 27 年度 富山県男女共同参画社会に関する意識調査報告書

発行 平成 28 年 3 月

発行者 富山県生活環境文化部男女参画・県民協働課

〒930-8501 富山市新総曲輪 1 - 7

TEL 076 - 444 - 3137

URL <http://www.pref.toyama.jp/>
